

サントリーカップ第11回全国小学生タグラグビー選手権大会

北海道ラグビーフットボール協会 普及育成委員会
タグ担当委員 旭 由紀夫

去る、3月7日（土）、8日（日）秩父宮ラグビー場において「サントリーカップ第11回全国小学生タグラグビー選手権大会決勝大会」が開催されました。

今年も北海道ブロックより2チームが参加しました。

2年連続7回目出場「富良野市立富良野小学校へそタグズ」と、初出場「帯広市立花園小学校花園エンジェルス」の2チームが北海道ブロックの厳しい予選を勝ち抜いて、全国大会に出場しました。

<大会第1日目>

今年は、2日間とも天候に恵まれず、雨の中で全24チームが熱い戦いを繰り広げました。

まずは、開会式直後予選リーグAプールの試合で、「富良野小へそタグズ」が南関東ブロック代表「都留フィッシャーマンズ」と対戦、初戦の緊張と寒さもあり、前半からリードされる展開、後半に入り一時は同点に迫りましたが終盤に逆転され敗退しました。

2試合目以降は本来の力を出しましたが、予選リーグ3位通過でシールドトーナメントに進出しました。

一方、「花園小花園エンジェルス」は予選リーグDプールに入り、初戦は中関東ブロック代表『梅ヶ丘ブルーウェイブス』と対戦、初出場の緊張感や雨が降り滑りやすいグラウンドでの試合で、ミスも続き前半からリードされました。

後半に入りトライを取り返しましたが残念ながら敗退しました。予選リーグでは本来の力を発揮出来ず、予選リーグ4位通過でシールドトーナメント進出となりました。

全試合終了後にアフターマッチファンクションが行われました。チーム紹介が北海道からスタートし沖縄までの全24チームがステージ上紹介されました。たいへん盛り上がり、時間が押しましたが子供たちは交流を深め1日目終了しました。

<大会第2日目>

今年は、国立競技場改修工事の為2日とも秩父宮ラグビー場での試合となりました。朝から雨が降り最悪のコンディションの中、大会2日目の決勝トーナメントが始まりました。

シールドトーナメント1回戦「花園小花園エンジェルス」は沖縄ブロック『Red Bull』と対戦しました。今年も北海道と沖縄の対戦になりました。

前半は1点を争う好ゲームでしたが、後半終盤疲れからミスが目立ち惜しくも3-5で敗れました。

フレンドマッチに進んだ「花園小花園エンジェルス」は最後に力を出しきり、全国大会初勝利。

表彰式ではフェアプレーのチームに贈られる石塚賞をいただき、子供たちも喜んでいました。

一方、「富良野小へそタグズ」は四国ブロック代表『東雲グレートファイターズ』と対戦しました。緊張もとれて前半からリードを保ち8-1で勝利し、準決勝に進出しました。準決勝も好調が続き7-2で勝利し、昨年同様決勝戦へ駒を進めました。

雨も上がり4つのトーナメントの決勝戦が同時に開始しました。「富良野小へそタグズ」は先制のトライを取り、試合を優位に進め8-5で勝利し、みごと北海道ブロック代表での初優勝を手にしました。おめでとうございます。

去年決勝で敗れたメンバーも残っており、その悔しさをバネに1年間練習してきた成果がでたと思えました。

そしてカップトーナメントで優勝し、サントリーカップを手にしたのは東京ブロック代表『七国スピリッツ』でした。

今大会を通じて感じたことは昨年同様上位チームの試合では、ミスの少なさ、パスの正確さとスペースを見つけ攻める判断が勝っているチームが上位に入れると思えました。

全国大会見てきたプレーを今後の北海道のタグラグビーの普及に活かして行きたいと思えます。

最後に今回、引率された富良野小、河本先生、柳澤先生、花園小、五十嵐コーチ、高城コーチ、応援に駆け付けた保護者の皆様方、今大会レフリーを務めて頂いた涌井レフリー、ほんとお疲れ様でした。



